



北潟っ子3つの誓い

- 一つ、私たちは、我がまち北潟に誇りを持ち、まちのためによりことをします。
- 一つ、私たちは、家族のことを思い、家族のために役立つことをします。
- 一つ、私たちは、自分がよいと思うことをねばり強くがんばります。



ぎふ県から来た神戸先生はやさしく教えてくれました。しまづ先生や森先生も教えてくれたので、すてきなたん生日ケーキができました。今日は、楽しい一日でした。 3年女子

粘土の造形を楽しみました

9月17日(木)に、文化庁の事業である「子供 夢・アート・アカデミー」を実施しました。これは、美術・文芸・音楽等の分野における芸術上の功績顕著な芸術家である「日本芸術院会員」が、講話や実技披露、実技指導を行い、子供たちに文化芸術活動の素晴らしさを実感させ、夢を持って生きることの大切さを教えることを目的とした事業です。今回は、彫刻家の神戸峰男先生をお招きして、粘土による造形の授業をしていただきました。神戸先生は、名古屋芸大教授であり、さまざまな展覧会で受賞をかさねられている著名な彫刻家です。岐阜県からおいでいただきました。森 矢真人先生(山梨県)と志満津 華子先生(愛知県)も来て下さり、神戸先生と一緒に教えてくださいました。

ねん土にどんな種類があるのか知らなかったけれど、ねん土でいろいろな物ができるとわかりました。 4年女子

ぼくはネッシーをねんど教室で作りました。一番くふうしたことは「目」です。こまかくほってさいごに目玉をつけました。 3年男子

1.3kgの粘土を前に何を造ろうか迷っている子供たちでしたが、神戸先生の「粘土と相談しながら、ゆっくり粘土と遊んでみよう。」という言葉掛けに、粘土とじっくり向き合い思い思いの作品を造ることができました。

ちっちゃいイスを作りました。森先生にいっぱい教えてもらいました。イスの脚の間に新聞を入れました。いとこの赤ちゃんをすわらせたんです。 4年男子

ぼくはカメを作りました。さいしょは小さいのを作ろうと思ったけれど、やくと1センチくらい小さくなると聞いたので大きいのを作りました。 3年男子

子供たちが、迷っているといふ「こうしたら」と教えてしまいがちな私たちに、神戸先生は「子供たちが自分で動き出すのを待ちましょう。」とおっしゃいました。子供たちを信じてじっくり待つことの大切さを改めて教えていただきました。

2ヶ月ぐらいで、焼き上がった作品が戻ってきます。どんなふう仕上がってくるのかとても楽しみです。

ねん土は意外と重たかったし、手についてかわいたらふつうの土みたいになっていて、売っているねん土と全然ちがってびっくりしました。 5年女子

神戸先生が選んだ今日の最優秀作品



気をつけてください

波松に熊が出たそうです。外出の際には十分気をつけてください。



「四年の清水さん動物のおしろ」



「五年の有馬さんきのこの里」

